



# 大久保小だより



平成30年10月1日第号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子147名女子122名計269名

学校教育目標 **カいっぱい かしく やさしく たくましく**  
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

## あいさつは素敵な言葉

### 校長 金子 要一

9月から10月にかけて、各学年とも校外学習や社会科見学、遠足に出かけます。日頃学習している教室から飛び出して、普段できない貴重な体験をする良い機会です。

なかでも5年生は2泊3日の館岩自然の教室、6年生は1泊2日で日光への修学旅行と宿泊を伴う活動をします。私は、9月11日から13日にかけて行われた、5年生の館岩自然の教室の引率をしてきました。

大自然の中で様々なことに挑戦した5年生ですが、素晴らしいことに、参加した全員が前山登山と源流探検に成功したのです。みんなで励ましあい、自分と戦い、歯を食いしばって山と滝を登り切りました。感動的でした。

もう一つ、私は出発式で5年生に「時間を守る」「しおりを見て自分で行動する」「あいさつをしっかりとる」という3つの約束をしました。これも見事に達成しました。3日間の館岩自然の教室を通して、5年生は大きく成長しました。



さて、「あいさつ」という言葉が出てきたので、それに関するお話です。

私は朝、正門の北側にある横断歩道の脇に立って、交通指導をしつつ子どもたちにあいさつをしています。その様子から、朝の児童は大きく**4つのタイプ**に分類できます。

まず、**私が「おはよう」と声をかけるより先に元気よくあいさつをするタイプ**です。そのような児童は、しっかり顔を上げ、目を見てあいさつをします。

次に、**私が声をかけたら、あいさつを返すタイプ**です。はじめはうつむきかげんで歩いているのですが、あいさつするときには顔を上げます。ほとんどの児童がここまです。

そして、**私が声をかけたら、顔は上げないものの、あいさつを返すタイプ**です。でも、声に元気はありません。

最後は、**何の反応もなくうつむいたままのタイプ**です。このタイプはごくまれです。

さて、児童のみなさんは自分がどのタイプか自覚できていますか。

あいさつには「心を開く」という大切な意味合いがあります。心を開くことは、人と人とがかかわりあうコミュニケーションの入り口です。**あいさつは、出会った人同士が互いに心を開いて相手にかかわっていくために交わす最初の言葉**であり、これから始まるコミュニケーションの重要な第一歩なのです。「さあ、今日も仲良く学校で過ごそうね」という意味でもあるのです。その言葉を言うときに、上の4つのタイプのうちどれがふさわしいかは、もうわかりますよね。

家庭や学校では、あいさつをしなくても過ごすことができるのも事実です。しかし、大人になり、**社会に出ると**そうはいきません。**当然のマナー**となります。「大人なんて、まだ先のことだ。」と思うのは間違いです。今、あいさつの習慣がないと、大きくなってもなかなか身に付くものではありません。

「おはよう」「こんにちは」など**何気なく交わしているあいさつ**ですが、実は**人と人とを結ぶ、とても素敵な言葉**なのです。